

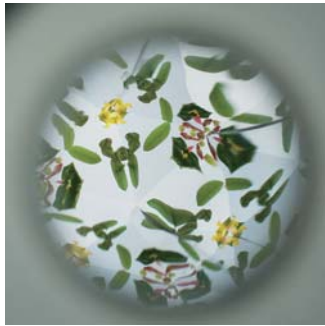
山が好き、自然が好き。 木や鳥の美しさに魅せられて…

堀田幸生さん

わたしに、木や鳥のことを語らせたら、終わりが無いがよね」と子どものような表情を見せるのは、バードカービング歴21年の堀田幸生さん。

独自の世界を持つ雑木バードの物語にせまってみました。

担当／広報編集委員 田中たい子



▲小さな草木がゆらめいて幻想的な模様が生まれる万華鏡

▶20種類以上の木の小さな鳥でできた、大きな鳥。手で引くと羽がおおきくはばたく。



▲堀田幸生さん

問い合わせ 090-2783-9905

堀田さんの熱意に心動かさ

バードカービングに魅せられて
「もともと、山登りが好きで、あまりの好きさに、三嶺には130回も登り、ついに山小屋まで作ったさね。堀田の作ったホッパて小屋。ははは」と、おやじジョーク炸裂。

きっかけは娘の6歳の誕生日でした。

「娘に何か手作りのものを。」とバードを作り始めました。最初はバードカービングといえば、美しい羽の模様を丁寧に彫刻し、本物のような鳥を作ろうとしてみたけれど、時間がかかるし、美しくはできなかったといいます。ある日、羽の部分を削らず、木の樹皮をそのまま活かして作ってみました。その素朴な美しさに、自分で感動。木の種類によって、全く違う表情を見せる堀田バードには、独特の愛嬌があるのです。

これまでものづくり全国コンペの東急ハンズ・ハンズ大賞に3度入選入賞した雑木のバード。独特の堀田ワールドが、ますます確かなものとなっていました。

雑木バードの物語

昨年1月高知市の追手前小学校が取り壊されるといふニュースを聞きつけ、堀田さんは、学校を訪れ、校庭の木でバードを作らせてほしいと申し出ました。最初は学校側も一般の個人の突然の申し出に戸惑っていましたが、諦めず、何度も出向い

た堀田さんの熱意に心動かされ、ついに、「ありがとう141年」として、校庭のイチヨウを使ったバードカービング講座が実現。全児童135人に思い出の木で作った閉校記念バードを持ち帰ってもらいました。

木の命は長くそれぞれに物語があります。古いお寺の境内にあった大きな杉の木。のいち動物公園のユーカリの木。

やむをえず切られたそんな雑木たちを、バードの姿にして残すことで、物語は人の心に、いつまでも留まってくれます。

伝える

堀田さんは、今、たくさんさんの講座を行っています。山や自然を好きな子どもたちがたくさん増えるようにと、バードカービング教室、竹のこっぺ作り、自然の万華鏡づくり教室など、昨年は58回の講座で、約1千5百人の子どもたちに教えました。

自然で遊ぶ楽しさ、ものづくりの楽しさを、もともとと伝えたいと願う堀田さんは、「自然のものづくり指導者養成講座」を始めています。「特に草木を使った万華鏡づくりはおもしろい。にぎやかなお母さんも一瞬で静かになる講座で、一度作ると、もう次は先生になれる。」と意欲満々。香南市でも、ますますひろがることでしょう。

編集後記

▼この夏は雨の日が多く、雷もじわじわ「ゴロゴロ」子どもころ、「雷さんにおへそを取られる」と言われたことはありませんか？ 実際におへそを取られたというユースは聞いたことないのですが、雷が鳴ると「おへそが心配に…(猪)

▼空路や海路はもちろん、高速道路から国道32号や55号もダメ。高知で自然災害になると、文字どおり「陸の孤島」になるなあと思感した8月でした。これだけ雨の日が多かったのに一度も雨上がりの虹に出会うことができなかったのが少し残念です。(た)

▼8月は久しぶりに台風の直撃を受けることになりました。被害を受けた方々にはお見舞い申し上げます。という私も家が雨漏りし夜通し天井から落ちてくる水滴と戦う一日を過ごしました。もう

台風は懲り懲りですね。(T) ▼台風や大雨の影響で、開催が危ぶまれた各地域のお祭り。無事開催となったお祭りでは、たくさんさんの笑顔に出会うことができました。笑顔と熱気に包まれた当日の様子を、ぜひご覧ください(2・3ページ参照)。(あ)

《広報へのメール》

kouhou@city.kochi.konan.jp
《香南市のホームページ》
http://www.city.kochi.konan.jp